

環境教育部会 実技研修会 終了報告

テーマ	体験しながら学ぶエネルギー環境教育	
日時	平成30年 7月27日(金)	
会場	NPO法人 ezorock 石狩作業所	
講師	大熊 啓介 氏 / 栗原 優里菜 氏 (肩書:)NPO法人 ezorock コーディネーター / コアスタッフ	
参加者	7名	
研修会 の 様子		<p>1、美登位「創作の家」見学</p> <p>旧美登位小学校の校舎を見学させてもらった。現在、2室は年間契約で2名の方が予約し、使用しているが、体育館ともう1室ある研修室は予約さえすれば使えるとのこと。施設を見学しながら、美登位の地質や植生、歴史や自然についても教えていただいた。</p>
		<p>2、かまどづくり</p> <p>有機野菜を調理するためのかまどを作った。ブロックを利用して作成。風向き、薪の高さなどを考慮し作成する。なお、米飯についてはかまどを利用して調理した。全て薪で調理する。なお火起こしにはライジングサンで回収した割りばしを再利用した。</p>
		<p>3、有機野菜調理</p> <p>すぐ隣で野菜を栽培しているはるきちオーガニックファームの有機野菜を使い、夏野菜カレーとサラダを調理した。トマト、キュウリはサラダに。カレーには、ズッキーニ、パプリカ、エンドウ豆、その日に収穫したジャガイモを使用した。</p>
		<p>4、有機野菜試食</p> <p>お米もこげずに上手に炊き上がった。ジャガイモ、ズッキーニ、トマトを使ってラタトゥイユも調理した。野菜の自然な甘さを感じることができ、大変おいしかった。</p>
		<p>5、薪割り体験（2種）</p> <p>斧による薪割りりと、薪割り機（小学生等の子どもでも薪を安全に割るための機械。手動。）を用いた薪割りを体験した。また、効率よく薪を割るための方法を考えてから薪を割るといったアクティビティーも体験した。その後、森の役割についても紙芝居方式で教えていただいた。</p>